

View NX-i + Epsonプラグインソフト(Epson Print Layout)でプリント

2021年4月27日更新

使用OS	プリンタ	表示ソフトウェア
Windows 10	Epson Proselection SC-PX5V II	Nikon ViewNX-i プラグインソフトウェア「Epson Print Layout」でプリント

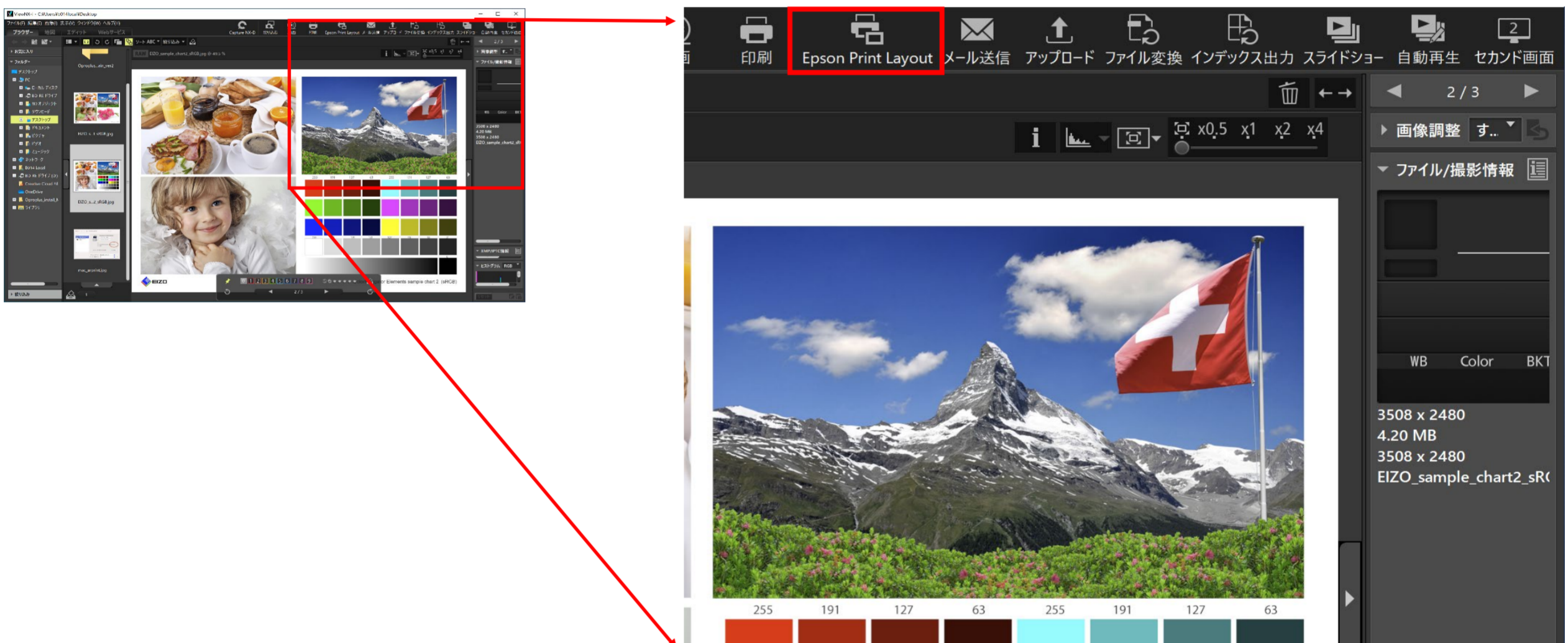
<準備>

あらかじめ、EpsonホームページからEpson Print Layoutをダウンロードしてインストールする必要があります。

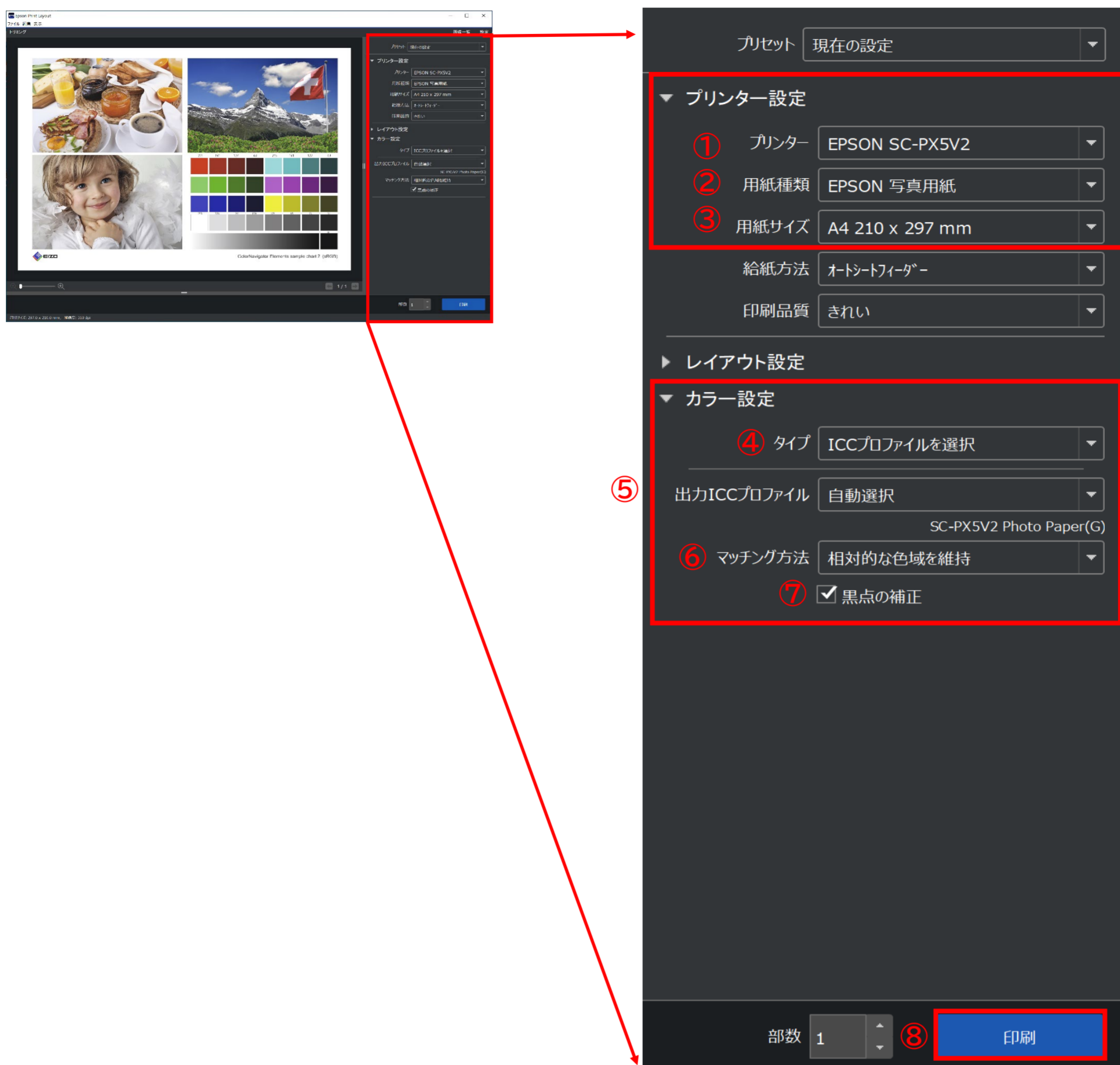
<https://www.epson.jp/products/pro/download/printlayout/?rdct=printlayout#mainSection05>

Nikon ViewNX-iには、プリントする前にプリントの色合いをモニター上で確認できる機能はありませんが、プラグインソフトウェア「Epson Print Layout」を利用することで、プリント前にモニター上で正確な色の確認を行うことができます。プリント設定から色確認の手順は以下の通りです。

1.Nikon ViewNX-i右上の「Epson Print Layout」を選択してください。



2. Epson Print Layoutが起動したら、右側の項目を設定してください。まず「プリンター設定」の中の「プリンター」「用紙種類」「用紙サイズ」を設定してください。次に「カラー設定」を設定します。タイプは「ICCプロファイルを選択」、出力ICCプロファイルは「自動選択」、マッチング方法は「相対的な色域を維持」、黒点の補正に「マークをつける」が写真プリントにお勧めの設定になります。以上を設定のうえ、必要に応じて「レイアウト設定」を行い、部数を決めたうえで、「印刷」をクリックして印刷を開始してください。



※ マッチング方法

「相対的な色域を維持」は、プリンタの色再現域を超えた色があった場合、再現できるもっとも近い色に変換し、再現域の中におさまっている色はそのままプリントする方法で、こちらをお勧めします。一方、「知覚的」は、全体を圧縮してプリンタの色再現域におさめる方法で、階調のつながりを意識した仕上がりととなります。

※ 黒点の補正

モニターで見ているRGB値をプリントのCMYK値に変換する際に、黒点の差の絶対値を補正します。Epson社が提供するプリンタプロファイルには黒点補正情報が埋め込まれていないため、設定ではチェックを入れます。

【参考】

Nikon ViewNX-iではプリンタの色再現域を超えた色もそのまま表示されます。一方、Epson Print Layoutで表示される色合いはお使いになるプリンタで再現できる色合いで表示してくれます。色を補正したい場合はNikon ViewNX-iに戻って行ってください。

【Nikon ViewNX-iで表示】



【Epson Print Layoutで表示】



3.モニター表示との比較、プリントの出来上がりを正しく確認するには、色温度が5000K、平均演色評価数(Ra)が90以上の照明をご使用ください。

